



おかざき  
岡崎 正淳  
誠友会  
(40分)



令和6年度の予算編成方針は

問

①多くの企業では3年余のコロナ禍に伴う資金繰りについて融資の返済が始まり、市内中小企業の経営状況の正確な把握が必要と考える。予算編成に当たり、本市における地域経済の現況は。

②総合的な財源確保策について5年間の最終年度となる。目標額87億円余に対して歳入歳出面面での取り組みの進捗は。

答

①福の耳プロジェクトや産業支援者連絡会議などを通じた聞き取りでは、原材料やエネルギー価格上昇の影響を受け価格転嫁に取り組んでいるなどの声を聞いている。長引く物価高騰に加え人手不足の状況が続いており、現在も市内の多くの事業者が影響を受けていると受け止める。

②今年度も約18億円の効果額を見込み、新年度の目標である約27億円を合わせた5年間の総額では、目標額を上回る約102億円を確保できるものと見込む。



あらたま  
荒玉 賢佑  
誠友会  
(60分)



(仮称)子ども未来館基本計画は

問

基本理念にある「未来に向けて挑戦する心を育む」とは、まさに科学技術の発達と社会実装の間にある壁を乗り越える力を身に付けることだと考える。生命倫理やSDGsの観点など、人間社会を営む上で重要となる分野について学び、深く考える機会が必要と考えるが。

答

自然現象の展示や多彩な科学実験などにより来館者に感動や驚きを届け、子どもに興味を科学の世界に向け、楽しく学べるよう検討を進めている。科学、工学などの先端技術だけでなく、芸術のほか文化、生活、倫理などの幅広い分野についても学ぶ機会を提供することで、気付きを知的好奇心につなげ、さらには未来に向けて挑戦する心を育む施設をめざす。

また、そうした知的刺激が、私たちの身近にあるさまざまな社会課題の解決に貢献する能力につながるよう知識の涵養につなげていきたい。



たぐち  
田口 裕司  
誠友会  
(60分)



(仮称)まちづくり支援拠点施設は

問

(仮称)まちづくり支援拠点施設整備計画のめざす施設像の中には「幼児から高齢者まで世代間の交流が自然と生まれるように工夫する」とあるが、具体的にどのような利活用を想定しているか。

答

事業者の提案ではオープンスペースは1階中心に配置し、会話しながらくつろぐことができる、会議やミーティングができる、学生などが勉強できる、そして一定規模のイベントも開催できる場となる。

また、エフピコアリーナふくやまや総合体育館公園などの周辺施設には多くの人々が訪れることから、オープンスペースにもさまざまな世代の人や団体が気軽に立ち寄り、憩い、交流が生まれる。今後、施設の運営事業者を中心に市や老人大学、まちづくりサポートセンターなどが参加する協議会の場で、多世代の交流を促進する事業やイベントなどについて検討することとしている。



施設のイメージ